

血液内科遠隔医療分科会

1. 分科会の目的

血液疾患患者診療における遠隔医療（同種移植後患者の遠隔 LTFU、在宅輸血の見守りなど）の普及と診療報酬を検討する。

2. 令和 6（2024）年度活動実績と成果

（1）令和 6 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業（厚労省）

分科会長を中心に、兵庫県合同輸血療法委員会にて「研究課題名：在宅輸血における遠隔輸液管理システムの開発及び小規模医療機関に対する輸血に関する質問対応窓口の試行的設置について」の研究事業を実施した。赤坂クリニックの在宅輸血患者 3 名に対して、輸血の滴下終了予定時間を遠隔で逐次モニターし、訪問看護師の効率的な患者宅の訪問に役立てるシステムの開発を行った。

（2）学会発表

西川彰則「ミリ波センサーを用いた在宅輸血危険行動検知システムの開発」

第 72 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，東京，2024 年 5 月

西川彰則，三谷早智子，三浦晃子，赤坂浩司

「患者付添人によるバイタルサイン測定結果自動通知を利用した在宅輸血の安全な見守りの検証」第 72 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，東京，2024 年 5 月

（3）論文

西川彰則「ICT を利用した在宅輸血患者の安全な見守りシステムの開発」

和歌山医学 75(3):112-115, 2024.

白石 壮太，西川 彰則「ミリ波センサーを用いたプライバシーに配慮した転倒検知技術の検証と臨床応用の期待」新医療 51(7):102-106, 2024.

3. 令和 7（2025）年度活動計画

遠隔 LTFU 外来の実践とガイドブック作成

在宅輸血における遠隔輸液管理システムの改良